

Info
1

菊川市の子どもたちの現状

全国学力・学習状況調査結果

全国学力・学習状況調査は、小学校6年の全児童と中学校3年の全生徒を対象として、毎年4月に行われています。令和3年度の結果と分析をお知らせします。なお、昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大による一斉休校のため実施されませんでした。

問い合わせ 学校教育課学校指導係(中央公民館内 ☎73-1113)



教科別の結果

小学校		国語	算数
	菊川市	64.0	67.0
全国平均	64.7	70.2	

中学校		国語	数学
	菊川市	64.0	60.0
全国平均	64.6	57.2	

国語	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語に関する こと	
小学校	●	◎	◎	●	
中学校	◎	◎	●	▲	
算数	数と計算	図形	測定	変化と 関係	データの 活用
小学校	●	▲	●	▲	●
中学校	◎	☆	☆	◎	

※菊川市の児童生徒の平均を
全国の平均と比較し、
☆大変高い(3ポイント以上高い)
◎高い(3~0.5ポイント高い)
○ほぼ同じ(平均とほぼ同じ)
●低い(0.5~3ポイント低い)
▲大変低い(3ポイント以上低い)
と表しています。

教科別の結果からみられた市の児童・生徒の特徴

小中学校ともに、国語では全国平均を下回り、「言語に関すること」に課題が見られます。小学校算数も全国平均を下回り、「図形」「変化と関係」で特に課題が見られました。中学校数学では、全国平均を大きく上回り、成果が見られました。

国語では、漢字や言葉の意味を正しく理解することや、場面に応じて適切に使分けしていく力が身に付いていない様子が見られました。漢字を覚える学習に根

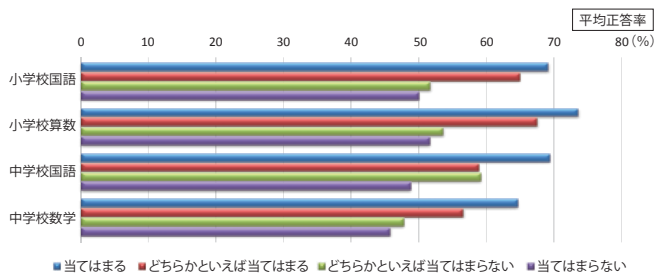
気強く取り組み、日常生活の中で繰り返し活用することが大切です。家庭学習や地域交流などの場面でも、正しい漢字や言葉遣いを心掛ける必要があります。

算数・数学では、速さや面積を求める式などの理解に課題が見られます。さまざまな問題に取り組み、活用できる知識とすることが必要です。授業の応用問題や家庭学習で繰り返し問題に取り組むことが学力の向上につながります。

対話活動と学力調査の結果

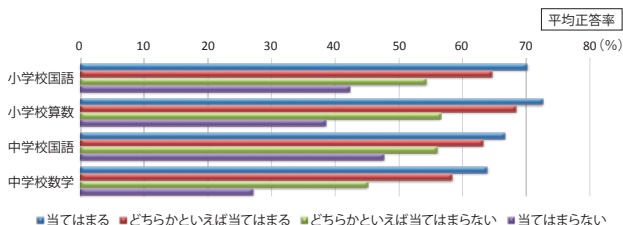
対話活動について

学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



対話活動で自分の意見を表現すること

小5までに(中1, 2のときに)受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか



学校では、ペアや小グループで自分の考えをもとに意見交換し、他者と比較するなどの対話活動を積極的に取り入れています。相手の考えを受け止めて自分の考えを伝え、相手に伝わるように工夫したりすることができている児童生徒は、学力調査の結果も高い傾向にありました。家庭や地域の中でも、子どもと会話の機会を増やしていきましょう。



1人1台端末の効果的な活用

今年度より開始した1人1台端末は、使う時間や場面を決めて活用することで、学力の向上につながっています。学校では、授業のさまざまな場面で活用し、児童生徒の活用能力を育てていきます。今後は、家庭学習でも効果的に活用し、さらに学力向上につなげていきます。

